

役員紹介

2025年6月5日の評議員会にて、法人役員の任期終了に伴い、役員の改選が行われました。
2025年度からの役員の皆様を紹介させていただきます。

理事・監事 任期：2025年6月5日～2027年定時評議員会まで

理事長	廣瀬達志	理事	奥野求理
理事	松本幸則	理事	濱洋子
理事	稲田隆史	理事	山岡道夫
理事	岡本 洋	理事	平野康雄
理事	二村優子		
監事	齋藤佳代子	監事	安元祐一郎

理事の石井一平様が退任され、新たに稲田隆史様が理事に就任いたしました。今後ともよろしくお願いいたします。
今回理事を退任された石井様、長きにわたりありがとうございました。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

評議員 任期：2025年6月5日～2029年定時評議員会まで

評議員	美谷島邦子	評議員	川崎洋子
評議員	今村まゆら	評議員	入戸野祐子
評議員	高橋明紀代	評議員	松岡恵子
評議員	鈴木啓司	評議員	関 安子
評議員	栈敷洋子	評議員	平井 勝

理事就任のご挨拶

いなだクリニック
稲田隆史

この度、プシケおおたの理事に就任いたしました、稲田隆史と申します。蒲田のいなだクリニックにて診療を行っております。こちらには、何人もの方がお世話になったことがあります。その節は、まことにありがとうございました。長年にわたり、様々な精神福祉の分野に携わってこられた皆様の熱意とご尽力に深く敬意を表します。この度、理事という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。自分が精神医療の世界に入ってから、早いもので四半世紀以上がたちました。徐々に、精神疾患への理解が深まり、医療機関や相談へのハードルは低くなってきましたが、まだ社会的な偏見や差別が払拭されたとは言えません。私は、精神障害は誰にでも起こりうることだと実感しています。他人事ではなく、わが身や近い人のこととして、安心して暮らせる地域社会のため、微力ではございますが、これまでの経験を活かし、皆様と共に当施設の発展に尽力する所存です。
何卒、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

新入職員紹介

大橋弘美

2025年4月からホーム蒲田で働かせて頂いております。全く未経験の分野ではありますが職員みなさまに大変温かく、優しくして頂き毎日とても有難く働かせて頂いております。今まで航空業界で勤務しておりそこで学んだお金を稼ぐ事の大変さや心身の強さ、しなやかさを糧に少しでもお役に立てるよう努めて参ります。

波多野奈央

4月よりクッキングワーク街の駅に入職しました。毎日学ぶことが多く、福祉業界の大変さと、精神障害の支援の難しさを日々痛感しています。新社会人としてまだまだ未熟ではありますが、プシケの一員として頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

異動職員紹介

濱口正義

前任の宮川みどりから引き継ぎまして、4月より施設長をつとめます濱口です。こうじやセンターは2001年の開所以来、利用者みなさま自身が作り上げる場として運営されてきました。これからもこの「場」を大切にしつつ、地域の求めに応じて、訪問などのアウトリーチ支援、地域移行支援（退院支援）にも力を入れてきたいと考えております。まだまだ不慣れなこともあり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

宮川(旧姓 川上)みどり

この度、施設長の役を辞する事となりましたのでご報告を申し上げます。
未熟な私が、皆さまにご協力ご指導をたまわり、7年間施設長を続けられました事に深く感謝申し上げます。
今年度からは濱口施設長のもと、今まで以上に、皆さんとプログラムに参加する時間、お話をし一緒に考える時間を大切に、出来る限り尽力いたしますので、よろしくお願いいたします。

金裕理

今年の4月から、クッキングワーク街の駅とホームプシケを兼務しています。誰しも生活する上でオンオフのボタンは必ずあると思うのですが、クッキングではオンモードのメンバーさんたち、ホームではオフモードのメンバーさんたちと日々接しながら、私は今どっちモードで接しているんだろう・・・と、たまに混乱するときがあります（私は基本仕事しているのでオンモードのはずなんですけど…^^;）。私自身が苦しいとき、当事者のみなさんと接しながら、私だけじゃないんだという当たり前のことに気づく日々です。普段何気なく感じている当たり前の中に本当があるんだと考えさせられます。私はまだまだ未熟者です。実践しながら成長していきたいと思っています。

廣野涼太

今年度よりホームプシケに異動になりました。グループホームでの業務は初めてとなりますが、入居者のみなさんが自分らしい生活を送る一助になれば、と思います。よろしくお願いいたします。

復職職員紹介

和知綾子

育休明けて4月から復帰しました。生活リズムがガラリと変わり、心身ともに中々追いつけずにはいますが皆さんに助けていただきながら日々過ごしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

こうじやセンターまつり



今年も第 11 回福祉のまち糰谷夏のおまつりと共催で、8 月 17 日(日)にセンターまつりを行います。
15 か所の福祉施設と共に、小学生以下のお子さんにはスタンプラリー等のお楽しみにご参加いただけます。
10:00 打ち水
11:00 開会式・当事者発表
13:00 プラバン・レジン体験
15:00 閉会式
館内で福祉施設から飲み物やフランクフルト・パウンドケーキの販売もいたします。
是非いらしてください。



かまた生活支援センター

2025 年、かまた生活支援センターでは、利用者さんの積極的な提案に基づいて、プログラムを実施しております。

以前からあった、お散歩やウォーキング、ふれあいファームといった屋外のプログラムと、室内のお茶会や音楽会といった従来のプログラムに続き、新たなプログラムも増えています。

ボランティアさんの協力で行うお菓子作りのプログラム、近隣の方に協力頂いて三味線演奏のプログラムも実施しており、他にも数名ボランティアの方に協力頂いております。

みんなで食事をしたいという声もあるため、隔月で「クッキングイベント」を行っています。内容としては、参加者でメニュー決め、翌月に食材の買い出し、調理、片付けまで一貫した食事をテーマとしたプログラムとなっています。

また、こうじやセンターとの交流をきっかけに、「レジンアクセサリ作り」を始めました。アクセサリ作りの経験のある利用者さんが上手にサポートしてくださっています。過去には SST やピアサポートというプログラムがありましたが、利用者さんと話し合い、最近「ぴあの会」というプログラムに一本化しました。新しいプログラムなので今後、どういう内容で実施していくか手探りな状態ですが、当事者同士で困ったことや悩んでいることを活発に話し合っています。

そして、より安心してセンターを利用するため、以前決めたルールを見直すミーティングも開催し、今後も話し合いを継続していく予定です。

なお、今年度の地域交流イベントは、他法人の事業所「ENTAS」と一緒にやろうという計画が持ち上がっています。他法人や地域と一緒にやることで、地域と交流していくイベントが実施出来ればと思います。



クッキングワーク街の駅 東京国立博物館へ

クッキングワーク街の駅では、6 月 13 日(金)に東京国立博物館へ行きました。

9 時 30 分に JR 蒲田駅に集合し、上野駅まで電車で約 30 分の行程でした。

今回は、12 名のメンバーが参加しました。皆さん集合時間に遅れることなく集合することができました。

東京国立博物館では、それぞれ関心のある展示を見たり、ミュージアムショップで買い物をしたりして楽しみました。なかなか見ることができない貴重な展示を見ることができました。

お昼はメンバーさんが紹介してくださったお店で各自が食べたいものを食べました。多種多様でボリュームな食事に皆さん大満足の様子でした。

皆さん体調を崩すことなく、無事に帰ってくることができました。



コミュニティスペースにしかまた

2015(平成 27)年 11 月から、新しい体制のもとで運営委員会が作られ、開店して今年で 10 年目に入りました。最初の 3, 4 年は何をしている店か分からずにいた方が多かったのですが、この 2, 3 年、地域の方々、また大田区の各地域から来る人たちが増えてきました。個人の方のみならず町内会の団体さんや、老人ホームの方々や知的障がい者施設の方々が車の送迎で来客するようになりました。一日、平均 15, 16 名が来客されています。憩いの場所、安らぎの場所として利用されています。そして、またリサイクルの品物を持ってきたりいただける方が多くなりました。「廃棄するには、もったいない。何かお店に役立つならば」と持って来てくださる方が増え、店の売り上げに貢献しています。週三日(月・火・木)の開店ですが、水、金の空いている曜日には、時に、大田社協や蒲田地域包括支援センター、暮らしの友などが地域活動に利用されています。(運営委員・スタッフ佐々木)



賛助会だより

かんかん照りの7月27日(日)午後2時30分から第15回社会福祉法人プシケおおた賛助会総会が行われました。

今回は、賛助会の今後の方向を決める総会でした。会員の高齢化が進む中、財政的な支援という意味では役割は終えている、解散も含めて方向を探ろうと、アンケートが提案され、検討しました。今後役員会で、提案されたアンケート案の修正も含めて決定し、全会員から意見を聞き集約し、それを会員の皆さんにご報告いたします。それに基づき来年の第16回総会では、今後の活動について、ご提案することといたします。

総会は、予定の時間を30分超過して終了し、サクソフォン🎷のミニコンサートに移りました。中島(なかしま)さんのサクソフォンは、とても優しい音色で、心を和ませる音色でした。松田聖子、ジブリの唄、他歌謡曲も交え45分アンコール1曲も含め熱演してくださいました。グループホームの利用者さんも含め16人の参加者でした。

プシケおおた賛助会費を2025年1月14日から2025年6月25日迄に納入して頂いた方(敬称略)
個人会費； 19名

♡ 心より御礼申し上げます。酷暑の折、ご健康とご多幸を祈念申し上げます ♡

プシケおおた賛助会代表 佐々木 康生

入会のご案内；

プシケおおた賛助会は、社会福祉法人プシケおおたの運営の維持・発展のために支援協力することを目的として活動を行っています。当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間1口2000円からで、何口でも可能です。入会を希望される方は、下記口座に会費をお振込みください。

郵便振替 口座番号 00150-5-663423 加入者名 プシケおおた賛助会

2024年度決算 (2024年4月1日～2025年3月31日)

収 入	2023年度よりの繰越金	211,940	
	個人会員会費53名(80口)	160,000	
	団体会員収入 3団体(3口)	30,000	
	寄付金(4件)	10,000	
	合 計	411,940	
支 出	法人プシケへの寄付		200,000
	総会・イベント費等		
	シンガーソングテスワーカー 出演御礼		30,000
	総会案内はがき代(@63×130)		8,190
	茶菓代		5,147
	映画「生きて生きて生きろ」賛同金		6,000
	振込料金		5,781
	支出計		255,118
	2025年度への繰越金		156,822
	合 計		411,940

2025年度予算 (2025年4月1日～2026年3月31日)

収 入	2024年度よりの繰越金	156,822	
	個人会員収入(80口×2,000)	160,000	
	団体会員収入(3口×10,000)	30,000	
	カンパその他の雑収入	10,000	
	合 計	356,822	
支 出	法人プシケへの寄付		200,000
	総会・イベント費等		
	講演謝礼など		10,000
	茶菓代		5,000
	総会案内はがき代(@85×100)		1,000
	振込書用紙代		0
	振込料金		6,000
	支出計		222,000
	2026年度への繰越		134,822
	合 計		356,822

<職員の勤務時間変更のお知らせ>

この度、働き方改革の一環として職員の勤務時間を従来の8時間から7時間に移行することを検討しております。2025年10月より試行し、2026年4月より開始予定です。関係機関の皆様へはご案内を送付させていただきますのでご確認いただきますようお願い申し上げます。



編集後記

今年は6月から30度を超える日が続き、雨の少ない梅雨らしさをあまり感じられない気候となっています。ここ数年季節感がなくなっている気がします。人の世界も戦争や物価高など苦しい状況が続いていますが、地球も同じように悲鳴を上げているのかもしれない。人に対してはもちろん、地球に対しても何ができるのかを真剣に考えていかないといけない時期に来ているのかもしれない。気持ちが落ち込む話題が多いですが、日々の暮らしの中で小さな楽しみを見つけていけるような心にゆとりを持って過ごしていきたいと思います。

吉崎